

令和7年度(2025年度) 第二回学校運営協議会情報連絡会

－研修概要－

【日 時】 令和8年(2026年)1月18日(日) 10:00～12:00

【場 所】 教育センター 3階 大会議室

【内 容】 (1)教育委員会からの情報提供
子どもたちのこれからの学びについて
～情報化社会・小中一貫教育～
(2)情報交換会
小中一貫教育について
・事例発表【南大沢中学校グループ・檜原中学校グループ】
・グループワーク

教育委員会からの情報提供

令和7年度二回目の情報連絡会が1月18日に開催されました。教育長からの挨拶は、昨年10月から12月にかけて行った、各学校運営協議会の傍聴での報告を受け、日頃から学校運営への積極的な参加への感謝を述べられました。

教育委員会からの情報提供は、情報化社会に向けた今後の学校教育についての説明と、市内小中学校での特色ある小中一貫教育の取組事例を統括指導主事より紹介しました。



事例発表の様子

今回は「小中一貫教育」をメインテーマとして、南大沢グループと檜原グループの小中一貫の取組事例を聞きました。



【南大沢グループ】
南大沢小・柏木小・
南大沢中の三校合
同で実施している
あいさつ運動や地
域防災、学習支援
の取組等を写真付
きで説明。



【檜原グループ】
檜原小・陶鎔小・檜
原中での合同学運
協実施の経緯や、
学運協同士をつな
がりがきっかけと
なり講演依頼に発
展した好事例を紹
介。

グループワークの様子

グループワークのテーマは、前半の講義を受け「中一ギャップを解消するために、小中一貫教育グループ内の学校運営協議会(地域)で何が取り組めるか」です。

各学校運営協議会が、他校と連携して取り組んでいることの良かった点や課題を感じる点などを話し合い、付箋に書き出して情報共有を行いました。





参加者の主な感想

- 今回意見交換のグループ分けは同じ課題を持った学校同士で大変有意義でした。
- 事例発表は参考となる事例が多くあり良かったです。
- 地域性の違いを学ぶことができる機会でした。
- GIGA学習の推進は素晴らしいと思いますが、読書する機会が減少しないか少し心配です。
- 他校の様子が分かり良いヒントをもらいました。
- 講義はとても分かりやすく良かった。デジタルとアナログの兼ね合いは大変な問題で、全世代の課題だと思う。